

IV 良質な個別サービスの実施(救護施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 利用者の尊重					
(1) 利用者の尊重					
1	1	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	○		
2	2	利用者の主体的な活動を尊重している。	○		
3	3	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する声かけや見守りと支援の体制が整備されている。	○		
4	4	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	○		
<p>(特に評価が高い点) 外出や地域活動など、利用者の主体的な活動を尊重し支援されている。就労支援の前段階的な「よろこびワーク」や、生活の質を高める「スマイルサロン」「あそぼう会」などでエンパワメントを図っている。</p> <p>(改善が求められる点) 開放的処遇に向け、メニューの更なる開発をされたい。</p>					
(2) 利用者の権利擁護					
5	1	利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。	○		
<p>(特に評価が高い点) 虐待防止や権利擁護などに関するマニュアルを整備し、研修を行っている。職員間では、朝礼時に職員の相互のストレスチェックを行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					
(3) 家族との連携・交流					
6	1	家族との連携・交流が積極的に行われている。		○	
<p>(特に評価が高い点) 家族との交流が少ない利用者が多い中で、施設として面会時間の配慮や広報誌の送付、行事案内などを行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 家族との交流を深めるため、更なる取組を進められたい。</p>					
(4) 生活環境づくり					
7	1	利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。	○		
<p>(特に評価が高い点) 二人部屋の個室化を進めており、私物の持ち込みも可能な限り進めている。自室以外でも少人数で過ごせる空間を用意するなど、利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>(改善が求められる点) 多床室の個室化にも取り組まれたい。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-2 日常生活支援					
(1) 食事					
8	1 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	○			
9	2 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	○			
10	3 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 重点課題として嗜好調査を実施し、その要望に応じたメニューを用意するなど、改善に努めている。利用者の摂食能力や体調等を配慮し、喫食時間に幅を持たせている。</p> <p>(改善が求められる点) 利用者の多種多様な嗜好に対して、利用者満足に近づけられるような献立の工夫が望まれる。</p>					

(2) 入浴					
11	1 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
12	2 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			
13	3 浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者一人ひとりの健康状態、自立度に応じた方法での入浴が、介護職員・看護職員の連携のもとで行われている。入浴日・時間は決まりがあるが、要望により日時の変更やシャワーの利用はいつでも可能である。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

(3) 排泄					
14	1 排泄介助は利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
15	2 トイレ環境に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者の身体状況に応じた排泄援助が行われている。車いす専用トイレなどの設備面や、プライバシーを考慮した構造など、トイレ環境に配慮している。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

(4) 移乗・移動					
16	1 移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 介助を必要とする利用者に対して、個人の状況に合わせた移乗・移動介助を行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 衣服					
17	1 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	○			
18	2 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者の好みに合った衣服の選択ができるよう買い物支援などを行っている。衣類の補修や汚れについても対応が適切に行われている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

(6) 理容・美容					
19	1 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	○			
20	2 理髪店や美容院の利用について配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 理容・美容の面では、職員により月2回行われている「スマイルサロン」での化粧等が、利用者の生活の質や意欲の向上に寄与している。また、施設においては月1回理容の日があり、地域の理美容院の利用も可能である。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

(7) 睡眠					
21	1 安眠できるように配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 個人の睡眠状況を記載した生活記録により職員が情報を共有し、安眠できるよう支援に力を入れている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

(8) 健康管理					
22	1 日常の健康管理は適切である。	○			
23	2 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			
24	3 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 嘱託医・地域の医師との連携のもと、看護職員が中心となって健康管理を行っている。定期的な検診も行われている。精神障害のある人の服薬管理を重要な治療と捉え、看護職員と介護職員が連携を取り、誤薬のないようにしている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(9) 余暇・レクリエーション					
25	1 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者の要望に沿って年間のレクリエーションを計画している。職員が利用者と一緒に楽しみを共有している「あそぼう会」の取組や地域の子どもとの交流、大学生も参加したクラブ活動などが行われている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					
(10) 外泊、外出					
26	1 外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 外出、外泊は、利用者の希望に応じて対応している。外出時には、連絡カードを所持している。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					
(11) 所持金・預かり金の管理等					
27	1 預かり金について、適切な管理体制が作られている。		○		
28	2 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	○			
29	3 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 所持品、金銭、嗜好品などは、原則利用者の意思や希望に沿うよう配慮されている。管理的な視点ではなく、開放的な視点での取組が行われている。タバコは一定の場所で喫煙できる。お酒は約束事項を設けており、行事の時に缶ビールを飲用できる。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					
A-3 自立支援					
(1) 訓練・作業の実施					
30	1 利用者の状況に応じて、訓練又は作業等に参加する機会を提供している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者の状況に応じた施設内外の作業を「よろこびワーク」として、参加する機会を設けている。作業をポイント化しポイントに応じて賃金を支払い、訓練や作業参加の場としている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					
(2) 地域生活への移行					
31	1 利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 地域生活への移行者が少ない中で、利用者の自立意欲を高め、地域生活が可能となるよう、一人ひとりの状況に応じた支援に努めている。</p> <p>(改善が求められる点) 利用者の地域生活への移行の視点を持った支援の継続と、普段から関係機関等との連携を図ることが求められる。</p>					